



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月9日

上場会社名 株式会社ソフトクリエイティブホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3371 URL <https://www.softcreate-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 林 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐藤 淳

TEL 03-3486-0606

定時株主総会開催予定日 2024年6月19日

配当支払開始予定日

2024年6月5日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	27,912	15.1	5,169	19.6	5,355	19.3	3,257	19.0
2023年3月期	24,253	14.3	4,322	7.3	4,489	7.9	2,738	15.8

(注) 包括利益 2024年3月期 4,867百万円 (50.4%) 2023年3月期 3,237百万円 (2.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	129.89	128.78	19.4	19.0	18.5
2023年3月期	108.68	107.71	19.4	18.7	17.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 79百万円 2023年3月期 58百万円

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	31,298	21,651	59.4	741.49
2023年3月期	25,192	17,527	59.7	600.51

(参考) 自己資本 2024年3月期 18,604百万円 2023年3月期 15,046百万円

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	6,484	1,385	1,015	13,509
2023年3月期	2,569	1,332	1,130	9,425

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		25.00		25.00	50.00	626	23.0	4.5
2024年3月期		24.00		24.00	48.00	1,204	37.0	7.2
2025年3月期(予想)		27.50		27.50	55.00		40.0	

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,445	4.3	2,414	10.3	2,536	11.1	1,564	5.5	62.33
通期	30,000	7.5	5,480	6.0	5,680	6.1	3,450	5.9	137.50

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	27,550,278 株	2023年3月期	27,550,278 株
期末自己株式数	2024年3月期	2,459,877 株	2023年3月期	2,494,232 株
期中平均株式数	2024年3月期	25,076,073 株	2023年3月期	25,194,900 株

(注)2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,316	8.1	2,795	9.8	2,850	9.3	2,359	13.7
2023年3月期	4,698	51.8	3,098	84.8	3,142	84.6	2,733	66.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	94.09	93.29
2023年3月期	108.52	107.55

(注)2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	11,859	10,525	85.5	403.95
2023年3月期	9,076	8,250	88.2	319.34

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,135百万円 2023年3月期 8,001百万円

(注)2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 4
(4) 今後の見通し	P. 5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 5
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 連結貸借対照表	P. 6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 8
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
(会計方針の変更)	P. 14
(セグメント情報等)	P. 14
(1株当たり情報)	P. 16
(重要な後発事象)	P. 16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、企業収益の改善とともに雇用・所得情勢は底堅く、個人消費も持ち直すなど緩やかな景気回復が継続しました。また、大手企業を中心とした投資意欲が旺盛であるほか、インバウンド需要回復などの前向きな動きはあるものの、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇及び日本銀行の金融緩和政策の見直しに対する警戒感、中国経済の先行き懸念や長期化するウクライナ情勢と中東情勢の不安定化に伴い、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属するIT業界は、企業のECサイト構築需要の高まりや、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA等のDX推進など、企業等の事業拡大や競争力強化に向けた戦略的なIT投資は活発化しております。

このような状況の中で、当社グループは国内市場シェア No.1のECサイト構築プラットフォーム「e c b e i n g」の提供やECサイトの売上拡大のための施策となるクラウドサービス(SaaS型)の提供を推進してまいりました。そのほか、生成AI市場の世界的な需要急拡大を背景として当社独自で開発した企業向け生成AIサービス「Safe AI Gateway」の提供や、企業のデジタル変革推進への取り組みに関連した企業内情報システムサービス「SCクラウド」、「X-p o i n tクラウド」の提供を推進するなど、ECソリューション事業及びITソリューション事業の売上拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は279億12百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益は51億69百万円(同19.6%増)、経常利益は53億55百万円(同19.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は32億57百万円(同19.0%増)となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの業績の概要は、次のとおりであります。

(ECソリューション事業)

国内市場シェアNo.1のECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」の販売及びECクラウドサービス「メルカート」の提供や、ECサイトの売上拡大施策となるビジュアルマーケティング「v i s u m o」、レビュー最適化ツール「ReviCo」、オムニチャネル分析ツール「S e c h s t a n t」等のクラウドサービス(SaaS型)を提供し、トータルのECソリューションを提供しております。

ECソリューション事業は、ECサイト構築売上高が伸長したことや、ECサイトの売上拡大施策となるクラウドサービス売上高が伸長したこと等により、売上高は155億44百万円(前期比16.7%増)、セグメント利益(経常利益)は39億63百万円(同17.8%増)となりました。

(ITソリューション事業)

当社グループの独自サービスである「SCクラウド」、ワークフローサービス「X-pointクラウド」等のクラウドサービス(SaaS型)の提供をしております。そのほか、セキュリティ・インフラ構築や当社グループが独自で開発したプロダクト製品「AgileWorks」、「L2Blocker」を販売しております。

ITソリューション事業は、クラウドサービス売上高が伸長したことや、セキュリティ・インフラ構築売上高の伸長により、売上高は123億68百万円(前期比13.1%増)、セグメント利益(経常利益)は28億35百万円(同8.2%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ25.3%増加し、205億50百万円となりました。これは、主に現金及び預金が40億80百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22.3%増加し、107億47百万円となりました。これは、主に投資有価証券が18億26百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて24.2%増加し、312億98百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ25.0%増加し、73億81百万円となりました。これは、主に契約負債が2億49百万円、未払法人税等が5億52百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ28.8%増加し、22億64百万円となりました。これは、主に役員退職慰労引当金が2億63百万円、繰延税金負債が2億33百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ25.9%増加し、96億46百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23.5%増加し、216億51百万円となりました。これは、主に利益剰余金が23億41百万円、その他有価証券評価差額金が11億21百万円、非支配株主持分が4億6百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して40億83百万円増加し、135億9百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、64億84百万円（前期は25億69百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払額が12億55百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が54億24百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13億85百万円（前期は13億32百万円の使用）となりました。これは、主に有形・無形固定資産の取得による支出が13億19百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、10億15百万円（前期は11億30百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が9億12百万円あったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	2023年3月期 (連結)	2024年3月期 (連結)
自己資本比率(%)	59.7	59.4
時価ベースの自己資本比率(%)	180.1	149.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	0.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	180,912	—

(注) 1 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式の時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ECサイト構築需要の拡大を背景として、国内市場シェアNo.1のECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」及び売上拡大施策となるマイクロサービス(SaaS型)が拡大すると見込んでおります。また、生成AI市場の世界的な需要急拡大を背景として、当社独自で開発した企業向け生成AIサービス「Safe AI Gateway」が拡大することや、企業のデジタル変革推進への取り組みに関連した企業内情報システムサービス「SCクラウド」、「X-p o i n tクラウド」、「AgileWorksクラウド」の拡大を見込んでおります。そのほか、企業のセキュリティ対策が脆弱な部分を狙ったサイバー犯罪は増加傾向にあり、事業継続の重要な要素としてサイバーセキュリティの対策が講じられる必要性が高まり、セキュリティ投資需要の拡大を見込み、売上増及び利益増を想定しております。

また、費用面については、製品機能強化の充実のための費用増や、知名度向上のための広告宣伝費の増加及び新卒社員の積極的な人材採用による採用費の増加等はあるものの、ECソリューション事業及びITソリューション事業の拡大に伴う利益増が吸収し、増収増益と過去最高の売上高及び利益を想定しております。

次期の連結業績予想につきましては、売上高は300億円(前期比7.5%増)、営業利益は54億80百万円(同6.0%増)、経常利益は56億80百万円(同6.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は34億50百万円(同5.9%増)を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,429,078	13,509,151
受取手形、売掛金及び契約資産	5,277,645	5,512,658
電子記録債権	474,949	266,801
有価証券	155	184
商品	375,002	259,562
その他	849,692	1,005,695
貸倒引当金	△2,434	△3,534
流動資産合計	16,404,089	20,550,519
固定資産		
有形固定資産		
建物	297,263	303,144
減価償却累計額	△163,640	△185,330
建物（純額）	133,622	117,814
工具、器具及び備品	618,651	654,942
減価償却累計額	△470,888	△527,640
工具、器具及び備品（純額）	147,762	127,302
土地	17,306	17,306
有形固定資産合計	298,691	262,422
無形固定資産		
ソフトウェア	1,526,591	1,955,823
その他	2,500	4,360
無形固定資産合計	1,529,091	1,960,183
投資その他の資産		
投資有価証券	5,207,403	7,034,123
繰延税金資産	422,960	309,801
その他	1,338,893	1,188,995
貸倒引当金	△8,585	△7,774
投資その他の資産合計	6,960,672	8,525,146
固定資産合計	8,788,454	10,747,753
資産合計	25,192,544	31,298,272

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,898,929	1,916,940
契約負債	1,422,277	1,671,404
短期借入金	11,836	—
未払法人税等	459,980	1,012,193
賞与引当金	556,026	676,464
製品保証引当金	—	44,074
損害補償引当金	—	23,000
その他	1,557,133	2,037,667
流動負債合計	5,906,182	7,381,743
固定負債		
役員退職慰労引当金	538,601	801,801
退職給付に係る負債	897,811	926,970
資産除去債務	67,722	67,937
繰延税金負債	234,261	468,053
その他	20,000	—
固定負債合計	1,758,396	2,264,762
負債合計	7,664,579	9,646,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	854,101	854,101
資本剰余金	1,902,532	1,932,036
利益剰余金	14,191,643	16,533,240
自己株式	△3,141,822	△3,068,372
株主資本合計	13,806,454	16,251,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,077,884	2,199,587
退職給付に係る調整累計額	162,044	153,687
その他の包括利益累計額合計	1,239,928	2,353,274
新株予約権	282,163	441,967
非支配株主持分	2,199,418	2,605,518
純資産合計	17,527,965	21,651,767
負債純資産合計	25,192,544	31,298,272

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	24,253,875	27,912,345
売上原価	13,932,110	15,996,915
売上総利益	10,321,765	11,915,430
販売費及び一般管理費	5,999,192	6,745,978
営業利益	4,322,572	5,169,451
営業外収益		
受取利息	266	573
受取配当金	87,437	99,013
貸倒引当金戻入額	—	71
為替差益	—	411
持分法による投資利益	58,442	79,187
その他	23,333	44,828
営業外収益合計	169,480	224,086
営業外費用		
支払利息	14	—
自己株式取得費用	1,588	—
為替差損	59	—
貸倒損失	—	106
和解金	91	972
中途解約違約金	—	12,440
損害補償引当金繰入額	—	23,000
その他	1,209	1,480
営業外費用合計	2,963	37,998
経常利益	4,489,089	5,355,539
特別利益		
固定資産売却益	—	18
投資有価証券売却益	—	9,999
関係会社株式売却益	—	61,070
新株予約権戻入益	—	628
特別利益合計	—	71,717
特別損失		
投資有価証券評価損	5,326	—
投資有価証券売却損	—	970
固定資産除却損	20,740	1,613
特別損失合計	26,067	2,584
税金等調整前当期純利益	4,463,021	5,424,672
法人税、住民税及び事業税	1,483,508	1,812,407
法人税等調整額	△99,961	△143,845
法人税等合計	1,383,546	1,668,561
当期純利益	3,079,474	3,756,110
非支配株主に帰属する当期純利益	341,464	498,988
親会社株主に帰属する当期純利益	2,738,010	3,257,121

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,079,474	3,756,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,154	1,121,517
退職給付に係る調整額	18,151	△10,063
持分法適用会社に対する持分相当額	△189	184
その他の包括利益合計	158,117	1,111,638
包括利益	3,237,591	4,867,748
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,897,251	4,370,467
非支配株主に係る包括利益	340,340	497,280

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	854,101	1,903,629	12,021,257	△2,699,391	12,079,596
当期変動額					
剰余金の配当			△567,624		△567,624
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,738,010		2,738,010
連結子会社の増資による 持分の増減		△1,097			△1,097
自己株式の取得				△442,431	△442,431
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△1,097	2,170,386	△442,431	1,726,857
当期末残高	854,101	1,902,532	14,191,643	△3,141,822	13,806,454

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	937,919	142,768	1,080,688	93,829	1,940,851	15,194,966
当期変動額						
剰余金の配当						△567,624
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,738,010
連結子会社の増資による 持分の増減						△1,097
自己株式の取得						△442,431
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	139,965	19,275	159,240	188,333	258,567	606,141
当期変動額合計	139,965	19,275	159,240	188,333	258,567	2,332,998
当期末残高	1,077,884	162,044	1,239,928	282,163	2,199,418	17,527,965

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	854,101	1,902,532	14,191,643	△3,141,822	13,806,454
当期変動額					
剰余金の配当			△915,524		△915,524
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,257,121		3,257,121
連結子会社の増資による 持分の増減					—
自己株式の取得				△85	△85
自己株式の処分		29,504		73,535	103,040
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	29,504	2,341,596	73,449	2,444,551
当期末残高	854,101	1,932,036	16,533,240	△3,068,372	16,251,006

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	1,077,884	162,044	1,239,928	282,163	2,199,418	17,527,965
当期変動額						
剰余金の配当						△915,524
親会社株主に帰属する 当期純利益						3,257,121
連結子会社の増資による 持分の増減						—
自己株式の取得						△85
自己株式の処分						103,040
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	1,121,702	△8,356	1,113,345	159,804	406,100	1,679,250
当期変動額合計	1,121,702	△8,356	1,113,345	159,804	406,100	4,123,801
当期末残高	2,199,587	153,687	2,353,274	441,967	2,605,518	21,651,767

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,463,021	5,424,672
減価償却費	760,049	921,851
株式報酬費用	398,613	324,492
貸倒損失	—	106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,049	289
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,832	120,438
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	60,606	14,923
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	64,500	263,200
受取利息及び受取配当金	△87,704	△99,586
支払利息	14	—
自己株式取得費用	1,588	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△18
固定資産除却損	20,740	1,613
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△9,029
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,326	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△61,070
為替差損益 (△は益)	59	△411
持分法による投資損益 (△は益)	△58,442	△79,187
新株予約権戻入益	—	△628
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,357,208	△26,865
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△128,848	118,863
前払費用の増減額 (△は増加)	△453,743	△100,261
仕入債務の増減額 (△は減少)	104,884	18,010
契約負債の増減額 (△は減少)	168,020	249,126
未払金の増減額 (△は減少)	68,601	198,380
その他	121,592	359,851
小計	4,194,554	7,638,759
利息及び配当金の受取額	88,493	100,427
利息の支払額	△14	—
法人税等の支払額	△1,713,178	△1,255,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,569,855	6,484,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	3,621
有形固定資産の取得による支出	△131,392	△49,078
無形固定資産の取得による支出	△1,136,099	△1,270,778
有形固定資産の売却による収入	—	20
投資有価証券の取得による支出	—	△173,903
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	27,030
関係会社株式の取得による支出	△51,009	—
関係会社株式の売却による収入	—	85,000
ゴルフ会員権の取得による支出	△9,736	△250
貸付けによる支出	△2,326	△7,614
貸付金の回収による収入	4,525	5,144
敷金及び保証金の差入による支出	△11,700	△2,433
敷金及び保証金の回収による収入	7,150	171
保険積立金の積立による支出	△1,673	△2,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,332,262	△1,385,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△37,076	△11,836
ストックオプションの行使による収入	1,260	—
自己株式の取得による支出	△444,020	△85
子会社の自己株式の取得による支出	△99	—
配当金の支払額	△565,702	△912,082
非支配株主への配当金の支払額	△84,498	△91,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,130,136	△1,015,184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	107,455	4,083,724
現金及び現金同等物の期首残高	9,318,156	9,425,612
現金及び現金同等物の期末残高	9,425,612	13,509,336

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、子会社に製品・サービス別の事業部門を設置し、各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ECソリューション事業」、「ITソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ECソリューション事業」は、ECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」のパッケージソフトの販売、カスタマイズ及びデータセンターでのホスティングサービスの提供に加えて、SEO対策及びプロモーション等の付加価値サービスを提供し、トータル的なECソリューションを提供しております。

「ITソリューション事業」は、当社グループが開発した3つのソフトウェアプロダクト(X-p o i n tクラウド、A g i l e W o r k s、L 2 B l o c k e r)の販売、ネットワーク構築を提供しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	ECソリューション事業	ITソリューション事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額(注) 2
売上高					
外部顧客に対する売上高	13,318,898	10,934,977	24,253,875	—	24,253,875
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,131	196,099	211,230	△211,230	—
計	13,334,029	11,131,076	24,465,105	△211,230	24,253,875
セグメント利益	3,365,280	2,619,394	5,984,675	△1,495,586	4,489,089
セグメント資産	5,683,247	4,964,650	10,647,898	14,544,646	25,192,544
その他の項目					
減価償却費	275,189	452,685	727,875	32,174	760,049
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	457,965	669,186	1,127,151	94,011	1,221,162

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,495,586千円は、セグメント間取引△130,932千円、その他調整額△4,128千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,360,525千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	ECソリューション事業	ITソリューション事業	合計	調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額(注) 2
売上高					
外部顧客に対する売上高	15,544,056	12,368,289	27,912,345	—	27,912,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,807	178,038	188,845	△188,845	—
計	15,554,863	12,546,327	28,101,191	△188,845	27,912,345
セグメント利益	3,963,252	2,835,042	6,798,294	△1,442,755	5,355,539
セグメント資産	4,898,641	5,018,909	9,917,551	21,380,721	31,298,272
その他の項目					
減価償却費	323,434	558,963	882,398	39,453	921,851
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	495,237	782,475	1,277,713	40,766	1,318,480

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,442,755千円は、セグメント間取引△122,299千円、その他調整額△28,992千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,291,463千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	600円51銭	741円49銭
1株当たり当期純利益金額	108円68銭	129円89銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	107円71銭	128円78銭

(注) 1. 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	2,738,010	3,257,121
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	2,738,010	3,257,121
普通株式の期中平均株式数(株)	25,194,900	25,076,073
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	△86	—
(うち連結子会社の潜在株式による調整額)	(△86)	(—)
普通株式増加数(株)	225,866	215,781
(うち新株予約権(株))	(225,866)	(215,781)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第9回新株予約権 新株予約権の数 2,764個 (普通株式 552,800株)	第9回新株予約権 新株予約権の数 2,724個 (普通株式 544,800株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません